

お客様各位

株式会社 セゾン情報システムズ
HULFT 事業部

HDC-EDI Manager で利用可能な Java の制限について

HDC-EDI Manager で利用可能な Oracle Java のバージョンに新たな制限が見つかりましたので、ご報告申し上げます。

— 記 —

1. Java の制限の詳細

HDC-EDI Manager Ver.2.5.2 において Java 8 を対応 Java 実行動作環境としていますが、以下のバージョンを動作保証外といたします。

- ・ Java 8 update 40
- ・ Java 8 update 45
- ・ Java 8 update 51

2. 上記動作保証外の Java 実行環境で動作させたときの影響

HDC-EDI Manager の画面を用いた以下の操作が正常に動作せず、メンテナンス中を示す画面に移します。

影響範囲は画面の操作のみで、連携処理には影響しません。

■ 業務情報詳細画面

- ・ 業務情報を新規登録するときに詳細設定ボタンを押下する。
- ・ 業務情報を新規登録するときにキャンセルボタンを押下する。

■ 転送グループ情報一覧画面

- ・ 画面にあるいずれかのボタン(反映、検索、詳細など)を押下する。

■ フォーマット情報一覧画面

- ・ 画面にあるいずれかのボタン(反映、検索、詳細など)を押下する。

■ 操作ログ取得画面

- ・ ダウンロードボタンを押下する。

■ インポートエクスポート画面

- ・ インポートボタンを押下する。
- ・ エクスポートボタンを押下する。

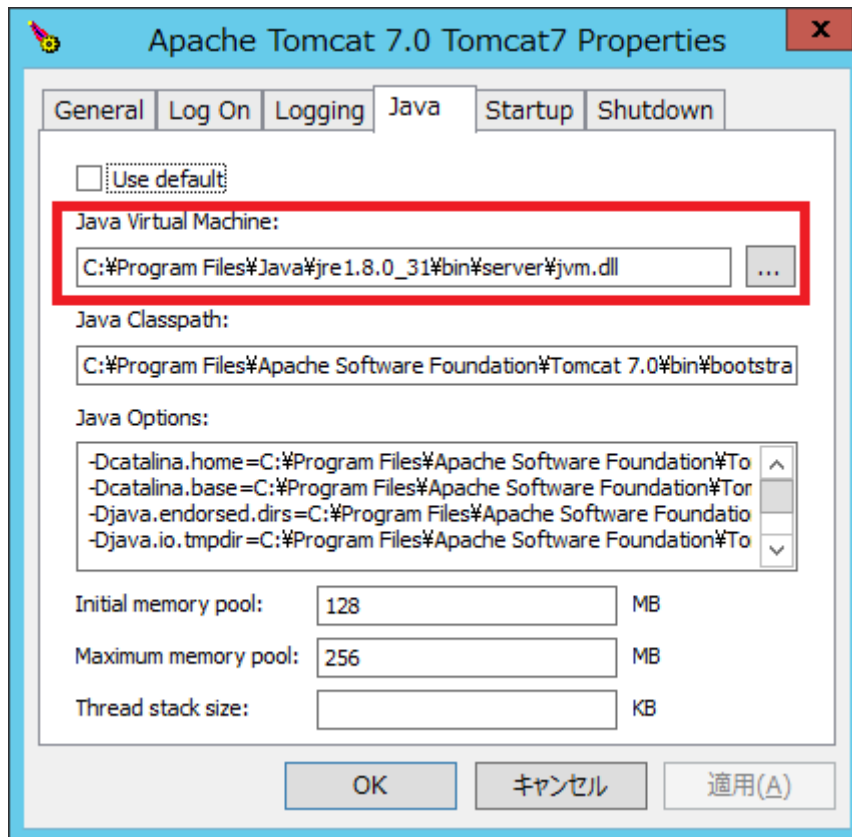
■ 設定ファイルアップロード画面

- ・ アップロードボタンを押下する。

3. 対応策

Web Server で使用する Java を Java 8 update 31 以下に設定してください。

例：Tomcat 7.0 の場合は以下の赤枠の箇所を設定します。



4. 最新の Java への対応方針について

現在、Oracle 社と協力して、今回の制限が発生した原因を調査しております。
調査結果を踏まえ、最新の Java に対応できるように予定しております。

以上